

DF技術部会瓦版第44号

発行:2017年8月28日 世話役:立石 裕夫 副世話役 :成田 嘉宏
編集・文責:成田 嘉宏



例会 8月21日(月)

13時30分 :例会 東京ウイメンズプラザ …… 出席者 37名

17時 :懇親会 傳八 青山 …… 出席者 21名



【目次】

- 活動報告 立石 裕夫 世話役
事務局連絡 小林慎一郎 アカデミー事業部長
分科会活動報告
- ・ 理科実験グループ 神永 剛 氏
 - ・ 経済・産業懇話会 浅野 応孝 氏
 - ・ リスクセンス研究会 中田 邦臣 氏(立石世話役代理報告)

講話 「バイオ医薬品、再生医療の現状と産業化への課題」

株式会社 セルシード代表取締役社長 橋本 せつ子 氏

次回例会のご案内

編集後記(世話役、編集者)



活動報告 立石世話役

立石世話役から、今年度ミッションを確認した後、以下の報告がありました。

1. 活動報告

・6月例会

1)参加 部会 30名、懇親会 20名

2)講話「リスクセンス」(梅里 康正 会員)

講話「整形外科的疾患(昭和大 矢倉 一道 先生)

・会計報告

2. 工場見学会

・日程;アンケートの結果僅差で11月14,15日に決定。

・見学場所;ブリヂストンご出身の原田忠和さん、原秀男さんにご尽力頂き、ブリヂストン栃木工場、テストコースを原秀男さんのご説明で見学。

・宿泊;那須塩原を予定。ブリヂストン社の宿泊施設に空きがあれば、変更。

・8月末に、会員の皆様にスケジュール、参加可否の案内を発信。

3. 技術部会ホームページ

2013年以降、見直し未実施。12月末まで改訂版を作成予定。

掲載内容;部会ミッション、会員構成、活動などを予定。掲載アイデアの提案を歓迎。

立石世話役の説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。

保坂事務局長所用で欠席のため、小林慎一郎アカデミー事業部長より以下のお話 がありました。



事務局連絡 小林アカデミー事業部長

1. 8月30日(水)15:00-18:00 講演交流会への出席要請。

・テーマ:期待と不安が交錯するヨーロッパ最前線空の報告

・講師:ミュンヘン在住ジャーナリスト 熊谷 徹 氏

(NHK 元ワシントン支局勤務)

2. 10月26日に開催されるDF発足15周年記念総会記念誌完成

3. 観光立国研究会編纂発行の“日本再発見紀行”の購入要請。

4. 30-40人収容のパナ会議室の予約使用が可能になり、技術部会の定例会議も実施可能。

5. オフィスのWiFi環境が整備され、会員の利便性が増した。



分科会報告

1) 経済・産業懇話会 浅野 応孝リーダーより以下の報告がありました。
・6月は、飯田孝司さんより「日本は原子力を推進すべきかーエネルギーの将来を考えるー」 7 月は、望月直躬さんに「2017 年の見通し トランプの滑り出しから」の表題で講演して頂きました。
・今後の予定は; 9月の予定を変更し特別企画 日本の将来「不安な個人・立ちすくむ国家」経済産業省若手プロジェクトの危機感に、OBとしての答えを討議。
10 月、山崎雅史さんに「自動運転と今後の課題」、11 月、味の素川崎工場見学会と加藤敏久氏(元常務執行役員 イノベーション研究所長)にアミノ酸の講話を予定しています。 浅野リーダーの説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。



2) 理科実験グループ 神永 剛リーダーより次の報告がありました。
・現状予定されている 2017 年のイベント数 156 回で前年を5回上回る申し込み。8 月は、1 日に 2 箇所の実施した日が 4 日あり、27 回を記録した。
・現在会員数 74 名 ・テーマ数 17
・子どもゆめ基金の支援で、DF 主催のサイエンスフェスティバルを実施。
・グループ史を編纂中で、12 月に完成予定。15 周年記念パーティには、年表をとりまとめ展示。
・少年写真新聞社の理科教育ニュース 7 月 8 日号と 8 月 8 日号に DF の理科実験活動の記事が掲載された。
神永リーダーの説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。



3) リスクセンス研究会 中田リーダー所用のため欠席。立石世話役が代理報告した。
DF NPO リスクセンス研究会を支援する会の表題および関連説明に関して、技術部会が支援する必要など多数の疑問、質問意見が出され、議論沸騰した。9 月 11 日(月)、本件に関する会議をリスクセンス研究会主催で実施するので多数ご参加頂き討議して頂きたい。説明資料は、[こちら](#)をご覧ください。



講話 バイオ医薬品、再生医療の現状と産業化への課題

株式会社 セルシード代表取締役社長 橋本 せつ子 氏より、頭書テーマでご講演頂いた。



橋本さんは、九州大学理学部をご卒業後、ドイツに留学し博士号取得、1984年ヘキストジャパンで医薬品開発に従事、その後、医薬ビジネス分野に転じ、2014年セルシード代表取締役社長に就任され、損失、損傷あるいは、機能低下した臓器を同社が開発した細胞シートで再生治療する事業開発を推進されています。新薬開発の歴史、2050年世界市場50兆円規模に成長すると予想される再生医療を取り巻く環境と今後についてお話頂いた。説明資料は、[こちら](#)をご覧ください

今後の技術部会のお知らせ

第5回以降の定例会は、以下の通りです。多数の会員の皆様のご出席をお待ちしております。

2017年度

- ・第5回 11月14日(火), 15日(水) 株式会社 ブリヂストン 栃木工場見学
- ・第6回 12月15日(金) 昭和大学 部会終了後忘年会

編集後記

今回の講話は、株式会社セルシード代表取締役社長 橋本せつ子様バイオ医薬品・再生医療に係るお話でした。私にとっては、医薬品業界の全体が理解でき、特に再生医療に関しては新しい医療分野で今後多くの可能性があることが理解でき、有意義な講話でした。印象的でしたのは、未知の領域に立ち向かう橋本様の開拓者精神が垣間見えたこととその情熱的なお話しぶりでした。今後、橋本様のご健闘され、橋本様の事業が成功することを願っています。

世話人 立石裕夫

空梅雨の後に、激しい豪雨が襲来し、国内各地で被災に苦しむ方々のニュースが続き胸を痛めております。そのような中、今年度技術部会も、残すところ2回となりました。

次回は、毎年恒例の工場見学会をブリヂストン社 栃木工場で行います。多数の方のご参加をお待ちしております。

編集文責 成田 嘉宏

以上